

陸上運動部 部便り

2005年4月号

六大戦

目次

1 監督の言葉	1
2 主将の言葉	1
3 試合経過	1
4 試合結果	5
5 2005年度部内5傑 2005.4.9現在	7
6 主務より	8

1 監督の言葉

六大戦 監督 八田 秀雄

東京六大学対校は4月9日大井で行われました。大井の開催は初めてでしたが、ここ2年寒い大会が続いていたので、久しぶりに暖かい六大戦になりました。最初の砲丸と三段で二人入賞し、110Hも二人決勝に残り、さい先のよいスタートとなりました。しかしその後あまり点が伸びず、終わってみれば結局46点の総合5位。いつもと同じ点と順位という印象でした。個人では、佐野が東大記録会から三段14m台を連発しているのが目立ちました。パート別では短距離と長距離は層の薄さが改善されていません。中距離は800m、1500mともハイペースのレースで、今後に期待がもてました。跳躍、投擲は点は取れ、二人入賞もあり明るい兆しがありますが、エースがもっと力を出す必要があります。エースが出ない種目もありオープンの出場者が少なく、対校戦に出ることが運動部としての第一のはずですから、基本的な姿勢に問題が感じられました。5種目で二人入賞するなど、いい結果もあり、前半の流れからいっても60点は取れる力はあると思います。それを試合の場

でちゃんと発揮できるかです。

今年から大学院生を学部チームに入れることができなくなり、関東インカレの総合点では厳しくなることもあり、さらに部全体での盛り上げが必要と感じられます。

2 主将の言葉

主将 米田 武史

今回の六大戦は、冬季練習空けの最初の対校戦であると共に、強豪校と戦えるということもあり、対校戦という意味だけでなく関東インカレに向けての腕試しという意味でも非常に重要な試合だったと思います。対校結果は、例年とほぼかわらず5位でしたが、個人では、関東インカレの標準を切ったり、そこまですでなくとも皆各自の課題が見えてきたりと、十分な意味の残るものだったと思っております。次の対校戦は関東インカレという大舞台ですが、そこに向けてますます部員一同頑張っていきたいと思っております。

3 試合経過

トラック

10:00 男子110mH 予選

1組3レーンに田中(5年)の出場。スタートは出遅れ3位で1台目に入る。4台目までは順調にこなし、追い上げるかに見えたが、5台目以降調子を崩し、先頭に遅れをとる。結局そのまま15"77の3着にてフィニッシュ、決勝に進出した。風は-0.3mであった。

2組6レーンに梅沢(3年)の出場。スタートは少し出遅れたが、6台目から徐々にスピードを上げ、1人かわす。し

かし追い上げも及ばず 16"15 の 3 着でフィニッシュ。決勝進出を果たした。風は +0.7m であった。

10:25 男子 400m 予選

1 組 2 レーンに沖田 (2 年) の出場。最内のレーンからのスタートで若干出遅れるが、そのまま離されずに、200 メートル付近までは我慢の走りとなる。200 メートル過ぎからはうまくコーナーを使って追い上げ、最終ストレートに入る。最後まで何とかくらいつきトップと 1 秒差の 50"58 の 4 着でフィニッシュ。決勝進出を果たした。

2 組 7 レーンに田中 (4 年) の出場。得意の前半は持ち前のスピードで後者の追撃をかわし、200m は 2 着付近で折り返す。しかし課題の後半で崩れ、300m 付近までにはずると交代。ラストは意地で粘るも前と大差のつく 52"16 の 4 着でフィニッシュ。決勝進出はならなかった。

10:45 男子 100m 予選

1 組 3 レーンに米田 (4 年) が出場。得意のスタートで先頭に食いつくも仕上がりが万全ではなく、課題の後半に精彩を欠き、順位を下げて 11"13 の 5 着でフィニッシュ。決勝進出はならなかった。このとき風は ± 0.0m であった。

2 組 7 レーンに藤本 (2 年) の出場。スタートで体勢を崩し、大幅に出遅れる。しかし、後半リラックスし、伸びのある走りで 11"66 の 6 着でフィニッシュ。決勝進出はならなかった。このとき風は -2.2m であった。

11:40 男子 800m 決勝

村井 (4 年)、割沢 (3 年) の出場。オープンレーンから、かなり早いペースで試合は始まり、最初から集団は縦長となる。村井、割沢ともに集団のやや後半につける。400m の通過は村井が 55 秒、割沢が 56 秒。そこから一気に集団が崩れ、レースは混戦となる。500m で村井が、600m で割沢がそれぞれスパート、順位を上げる。村井はそのまま粘りを

見せ、1'57"06 で 7 着でゴールし、見事 2 点を獲得。割沢は一時、得点圏内に順位を上げるもラスト 100m で力尽き、惜しくも 10 着となるが、1'59"94 とタイムを残し、今季に期待の持てる内容であった。

12:30 男子 3000mSC 決勝

山崎 (3 年)、石原 (2 年) の出場。力のある選手がハイペースで引っ張り、スタートから集団が縦長になる展開の中、石原・山崎共に積極的に集団についていく。しかし 2 周目あたりから早くも力の差がある選手は次々と振り落とされ、山崎もずると位置を下げてしまう。しかし石原は、苦手のハードルのロスがあるも走りですっかりカバーしながら、4 人の先頭集団の中のいい位置で 1000m を 3'01" で通過。この辺りから先頭集団もばらけ、疲れの見える石原は必死で前を追うも、逆に後続に次々と抜かれていってしまう。後半は、前半飛ばしたせいで脚が止まり、石原は 9'49"42 の 6 着でフィニッシュ。山崎は 10'51"36 の 10 着。二人とも対校選手として積極的な走りを見せたが、力の差を見せ付けられる形となった。ただ、石原は未熟なハードリング技術の成長如何では今後を期待を抱かせる走りであった。山崎は補欠から急遽の出場であったため、調整不足は否めなかった。

13:00 男子 4 × 100mR 決勝

7 レーン東大の出場。1 走藤本 (2 年) は得意のスタートに成功し実力どおりの走りを見せ、スムーズに 2 走田中 (2 年) へとバトンパス。田中は他チームに差を広げられながらも堅実な走りを見せる。バトンパスの際に多少のロスをしてしまうが、3 走相川 (3 年) も自らの役割を果たし、4 走米田 (4 年) へとバトンパス。米田はシーズン初戦ということもあり 100 % の力を発揮することはできなかったが、主将の意地を見せ、立教の追撃をかわし、42"38 の 5 位でゴール。

13:20 男子 110mH 決勝

2レーンに田中(5年)、7レーンに梅澤(3年)の出場。田中は順調にすべり出し予選以上の走りを見せるが、1部校の強豪の前には全く歯が立たず、5着15"90でフィニッシュ。梅澤はスタートこそ良かったものの、2台目、4台目でバランスを崩し、調子に乗れないまま次々と後続に抜かれ、16"87の8着でフィニッシュ。このとき風は-2.3mであった。

13:25 男子1500m 決勝

庄司(4年)、新井(3年)が**出場**。新井は関東インカレB標準を切っており、庄司は今季1500m初戦となる。暖かいが風が強く、まずまずのコンディションの中で行われた。レースは先頭が400mを59秒で通過するハイペースを刻み、一周目から縦に長く伸びる展開となった。その中で新井は最初から勝負を狙った位置につき、400mを5番手、60秒で通過した。庄司は若干離れながらも得点圏を維持する走りで7番手の通過だった。それ以降も速いレースが展開されたが、新井は1000m付近で早稲田の選手が飛び出すまでしっかりと喰らい付き、鐘が鳴った後も一人に抜かれはしたもののしっかりと粘って5着でのフィニッシュ。タイムは4'00"67と若干期待を下回るものだったが、レベルの高い試合で十分に実力を発揮した。一方庄司は風邪で調整不足でありながらも堅実に走り、ラスト100mでは一人を抜いて8着、得点を確保した。記録こそ4'13"97と物足りない結果だったが最低限の仕事をこなし、次回以降に期待を持てる内容であった。

13:55 男子400m 決勝

1レーンに沖田(2年)の**出場**。課題のスタートで少し出遅れ、バックストレートでも予選のような粘りを見せることができず、最後尾で前半を折り返す。その後コーナーで1人をかわし、意地を見せるもあと1人は届かず、51"58の7着でフィニッシュ。しかし、今シーズンを期待させる内容であった。

15:15 男子5000m 決勝

晴天に恵まれ、やや風は強いことを除けば絶好のコンディションの中、村田(4年)、千島(3年)が**出場**。法政大・原田、明治大・岡本ら関東屈指のランナーに交じってのレースということで、普段以上に緊張感のあるスタートとなった。村田・千島ともに積極的な走りを展開し、7・8番手争いとなる第2集団につき、1000mを2分55秒と2人にとってはかなり速いペースで通過。その後も必死の粘りを見せるが、2000m付近から千島が集団から離れ始め、徐々に後退していく。一方、村田は3000m手前まで集団についていく意地を見せるも、集団のペースアップに対応しきれず失速してしまう。その後は、必死に建て直しを図るも前半のハイペースのため、村田が16'11"03の10着、千島が16'36"50の12着と自己ベストからは大幅に遅れてゴール。前半の積極性は光ったが、全体としては不完全燃焼なレースとなってしまった。

15:45 男子4×400mR 決勝

東大は2レーンで**出場**。1走沖田(2年)は順調なスタートだが、100m付近から他校に引き離される。懸命にバトンをつなぐも6位。2走村井(4年)は必死に食い下がり、前との差を縮め3走今村(2年)に。3走今村は最初の100mやや引き離されるも食い下がりアンカー田中(4年)にバトンパス。4走田中は5位の立教とじわじわと差を広げられていく。しかし、200m付近から必死に追い上げを見せ、差を縮めて行くも残念ながら届かず3'28"28の6着であった。

フィールド

10:00 男子三段跳 決勝

佐野(3年)、倉員(2年)の**出場**。東大記録会に引き続きシーズン2戦目の佐野は、1・2跳目にステップでつぶれてしまうものの、3跳目では力強い助走と共に14m31を記録した。ベストエイト以降記録は伸びなかったが、今後関東インカレ2部A標準の突破も期待できる

跳躍を見せてくれた。シーズン初戦の倉員は、うまく調子が上がらず、関東インカレB標準である14m00を超えることができない。13m87でベストエイト入りは果たすものの、5跳目に踏切で足を痛めてしまい、途中棄権した。結果、佐野は14m31で5位、倉員は13m87で7位であった。

10:00 男子砲丸投 決勝

小林(2年)、持永(3年)の出場。天候に恵まれ、冬に比べて動きやすい日であった。小林は安定した投擲で2投目に10m24を投げる。一方持永は動きが安定せず3投目まで全てファールしてしまう。幸い出場者数が8名に満たなかったため、ベスト8に残れ6投目までの試技を続けることができた。4投目からは記録を残し、6投目に自己ベストを更新する10m23を投げ4位となった。小林は2投目の記録を上回ることができずに、3位に終わった。

12:30 男子走幅跳 決勝

佐野(3年)、相川(3年)の出場。両者ともに昨シーズンに関東インカレB標準(6m80)を突破しており、どちらか一方がA標準(7m10)を超えなければ、関東インカレにフルエントリーはできない。相川は4×100mリレーとの兼ね合いもあり、いつも以上の集中が要求されるなか、前半の3本において6m72を跳び5番手につけ、まずまずの出だしであった。一方の佐野は午前中の三段跳の疲れの影響であろうか助走に今ひとつキレがなく、6m55という不本意な跳躍ではあったが、かろうじて7番手につける。競技中を通して強い風が吹き、助走の安定が難しいというコンディションの中で大半の選手が記録を伸ばすことができなかった。その結果、順位は最後まで変わらず、相川が6m72で5位、佐野が6m55で7位であった。

12:30 男子円盤投 決勝

持永(3年)、庄司(2年)の出場。持永は棒高跳びと競技時間が重なってしまったため、公式練習を行なうことができ

ないまま1投目を行なった。その1投目で自己ベスト記録を残したが、残り2投ともにファールで記録を伸ばすことができずに28m82の9位となり、惜しくもベスト8に残れなかった。庄司は1投目26m台のまずまずの投擲をした。2投目では自己ベストを出し、その記録で8番手となり後半のベスト8に残った。後半はそれまでのベスト記録を超える投擲を見せるも、2投目の記録を超えられず、30m32の8位で競技を終えた。

12:30 男子棒高跳 決勝

持永(3年)の出場。晴れて気温も高く、良いコンディションのなか、3m40からの試技開始。練習跳躍では調子も良さそうであったが、本番になるとしっかりポールが立たず、1跳目は失敗。2、3跳目は跳躍の形までもっていけずに失敗。結果、記録無しで順位はつかなかった。得点が期待されていただけに、残念な結果であった。

14:00 男子走高跳 決勝

持永(3年)の出場。1m70から試技開始。初めての走高跳の対校戦ということで最初は動きが固く、1跳目と2跳目は失敗してしまう。3跳目はリズム良く助走ができ、少し余裕をもってバーを越える。次の高さである1m75を跳ぼうとするも、3跳とも助走のリズムが合わず、突っ込んだ跳躍になってしまい失敗。結果、1m70の8位で試技を終えた。

14:00 男子やり投 決勝

石井(4年)、関原(2年)の出場。強い向かい風が吹く中、競技が行われた。二人とも風に苦戦したのか、思うように記録が伸ばせない。関原は2投目が終わったところで、怪我をしていた足をひきずって退場。39m92の9位であった。石井も風に負けない投げを工夫したものの、3投目に38m40を投げるにとどまり、自己ベストを大きく下回る記録で10位に終わる。

4 試合結果

第38回東京六大学対校陸上競技大会

於 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
(H17.4.9)

5	樋口 統彦	立大	1.55.35
6	齋藤 貴裕	法大	1.55.75
7	村井 昂志	東大	1.57.06
8	平野 拓洋	明大	1.59.42
9	割沢 高行	東大	1.59.94

男子 100m 決勝 (+0.1)			
1	相川 誠也	早大	10.69
2	長野 誠	慶大	10.80
3	楊井 佑輝緒	早大	10.91
4	管沢 嵩裕	法大	10.94
5	瀧澤 我路	明大	10.95
6	山田 隆	明大	11.20
7	鈴木 翔大	慶大	11.21
8	田中 恭一郎	法大	11.90

男子 1500m 決勝			
1	高橋 和也	早大	3.53.78
2	高嶺 秀仁	法大	3.53.84
3	松垣 省吾	法大	3.57.14
4	日笠 裕充	早大	3.58.47
5	新井 邦生	東大	4.00.67
6	辻 太樹	慶大	4.09.83
7	津田 雄二郎	慶大	4.13.77
8	庄司 一郎	東大	4.13.97

男子 100m 予選			
1組 (± 0.0)			
5	米田 武史	東大	11.13
2組 (-2.2)			
6	藤本 元太	東大	11.66

男子 5000m 決勝			
1	岡本 直己	明大	14.14.55
2	竹澤 健介	早大	14.16.25
3	圓井 彰彦	法大	14.19.20
4	原田 誠	法大	14.24.96
5	藤森 憲秀	早大	14.52.45
6	池邊 稔	明大	14.53.44
7	亀田 健一	慶大	15.18.98
8	國弘 康志	慶大	15.39.95
10	村田 拓哉	東大	16.11.03
12	千島 悠司	東大	16.36.50

男子 400m 決勝			
1	小堀 進也	早大	49.10
2	伊藤 隆裕	慶大	49.25
3	西村 翼	早大	49.27
4	森 政朗	法大	49.43
5	藤田 泰仁	慶大	50.25
6	向井 哲哉	明大	51.06
7	沖田 朋憲	東大	51.58
8	平野 拓洋	法大	52.26

男子 110mH 決勝 (-2.3)			
1	浦川 彬	法大	14.42
2	青木 悠人	早大	14.42
3	入江 幸人	法大	14.47
4	國分 徹	早大	14.81
5	田中 啓	東大	15.90
6	寺崎 真弘	慶大	16.64
7	柳田 佳孝	慶大	16.84
8	梅沢 啓	東大	16.87

男子 400m 予選			
1組			
4	沖田 朋憲	東大	50.58
2組			
4	田中 佑貴	東大	52.16

男子 110mH 予選			
1組 (-0.3)			
3	田中 啓	東大	15.77
2組 (+0.7)			
4	梅沢 啓	東大	16.15

男子 800m 決勝			
1	下平 芳弘	早大	1.49.72
2	八木 智之	慶大	1.50.37
3	吉井 弘樹	早大	1.52.82
4	寺崎 真弘	慶大	1.54.30

男子 3000mSC 決勝			
1	青田 亨	明大	9.06.70
2	木村 充	慶大	9.11.35
3	星野 剛	法大	9.15.33
4	駒野 亮太	早大	9.17.73
5	下川 原温	法大	9.22.55
6	石原 宏尚	東大	9.49.42
7	針谷 勇次	慶大	10.02.92
8	及川 寛太	立大	10.04.98
10	山崎 大	東大	10.51.36

男子 4 × 100mR 決勝		
1	早稲田大学	40.13
2	法政大学	40.35
3	慶應大学	41.11
4	明治大学	41.39
5	東京大学	42.38
(藤本-田中-相川-米田)		
6	立教大学	42.94

男子 4 × 400mR 決勝		
1	慶應大学	3.15.42
2	早稲田大学	3.15.69
3	法政大学	3.15.84
4	明治大学	3.22.18
5	立教大学	3.25.33
6	東京大学	3.28.28
(沖田-村井-今村-田中佑)		

男子 走高跳 決勝			
1	岡田 祥秀	明大	2m00
2	蓬田 裕之	早大	1m90
3	松本 隆史	慶大	1m90
4	鳴尾 淳	早大	1m85
5	関根 由太	立大	1m85
6	藤原 雅夫	慶大	1m80
7	青木 祐輔	法大	1m75
8	持永 新	東大	1m70
-	宮 正彦	東大	DNS

男子 棒高跳 決勝			
1	奥木 大輔	法大	4m60

2	渡辺 孝太郎	慶大	4m60
3	中川 大輔	慶大	3m80
-	持永 新	東大	NR

男子 走幅跳 決勝			
1	十亀 慎也	法大	7m39
2	木村 孝三	早大	7m29
3	寺嶋 隆司	法大	7m27
4	竹内 敦史	早大	6m98
5	相川 啓佑	東大	6m72
6	本間 崇之	慶大	6m69
7	佐野 太郎	東大	6m55
8	関根 由太	立大	6m54

男子 三段跳 決勝			
1	竹内 敦史	早大	15m66
2	梶川 洋平	法大	15m41
3	青木 祐輔	法大	14m84
4	鳴尾 淳	早大	14m47
5	佐野 太郎	東大	14m31
6	倉員 智瑛	東大	13m87
7	中川 大輔	慶大	13m70
8	緒方 陽一	明大	13m25

男子 砲丸投 決勝			
1	山田 壮太郎	法大	15m17
2	田中 雄介	法大	14m02
3	小林 宗隆	東大	10m24
4	持永 新	東大	10m23
5	元木 右京	立大	10m00
6	丹治 弘樹	明大	9m75
7	桑田 和佳	慶大	9m31
8	藤原 宏晶	立大	7m44

男子 円盤投 決勝			
1	岡先 聖太	早大	44m78
2	井上 喜貴	早大	41m49
3	岡本 浩一	法大	41m26
4	田中 雄介	法大	38m71
5	丹治 弘樹	明大	34m21
6	桑田 和佳	慶大	31m54
7	中川 大輔	慶大	31m54
8	庄司 宇	東大	30m32

9 持永新 東大 28m82

男子 やり投 決勝

1	竹迫 寿	早大	71m11
2	桑田 和佳	慶大	64m19
3	古田 耕世	早大	62m94
4	山田 莊太郎	法大	57m51
5	前田 崇之	明大	53m09
6	中川 大輔	慶大	48m79
7	岡本 浩一	法大	43m81
8	関根 由太	立大	42m56
9	関原 孝之	東大	39m92
10	石井 仁也	東大	38m40

男子トラック順位

1	早稲田大学	86
2	法政大学	78
3	慶應大学	70
4	明治大学	38
5	東京大学	20
6	立教大学	8

男子フィールド順位

1	法政大学	70
2	早稲田大学	66
3	慶應大学	44
4	東京大学	26
5	明治大学	21
6	立教大学	10

男子総合順位

1	早稲田大学	152
2	法政大学	148
3	慶應大学	114
4	明治大学	59
5	東京大学	46
6	立教大学	18

5 2005年度部内5傑 2005.4.9 現在

男子 100m

1	米田 武史 (4年)	11"13(± 0.0)	4.9
2	藤本 元太 (2年)	11"24(+1.0)	3.21
3	瀧山 健 (3年)	11"2(-1.8)	4.3

男子 200m

1	瀧山 健 (3年)	22"5(+0.3)	4.3
---	-----------	------------	-----

男子 400m

1	沖田 朋憲 (2年)	50"58	4.9
2	田中 佑貴 (4年)	52"16	4.9

男子 800m

1	村井 昂志 (4年)	1'57"06	4.9
2	新井 邦生 (3年)	1'59"2	4.2
3	割沢 高行 (3年)	1'59"94	4.9

男子 1500m

1	新井 邦生 (3年)	4'00"67	4.9
2	月崎 竜童 (2年)	4'11"1	4.3
3	石原 宏尚 (2年)	4'13"4	4.3
4	庄司 一郎 (4年)	4'13"97	4.9
5	斎藤 俊 (2年)	4'14"3	4.3

男子 5000m

1	中原 健二 (4年)	15'42"7	4.2
2	千島 悠司 (3年)	15'45"6	4.2
3	村田 拓哉 (4年)	15'47"5	4.2
4	稲垣 誠 (4年)	15'55"1	4.2
5	片岡 哲郎 (3年)	16'01"6	4.2

男子 110mH

1	田中 啓 (5年)	15"77(-0.3)	4.9
2	梅沢 啓 (3年)	16"15(+0.7)	4.9

男子 3000mSC

1	石原 宏尚 (2年)	9'49"42	4.9
2	月崎 竜童 (2年)	10'05"4	4.9
3	山崎 大 (3年)	10'51"36	4.9

男子 10000mW

1	深尾 宙彦 (3年)	52'55"7	4.3
2	菅野 雄大 (2年)	54'09"3	4.3

男子 三段跳

1	佐野 太郎 (3年)	14m31	4.9
2	倉員 智瑛 (2年)	13m87	4.9

男子 走高跳

1	持永 新 (3年)	1m70	4.9
---	-----------	------	-----

男子 砲丸投

1	小林 宗隆 (2年)	10m24	4.9
2	持永 新 (3年)	10m23	4.9
3	庄司 宇 (2年)	10m17	4.2
4	関原 孝之 (2年)	9m99	4.2

男子 円盤投

1	関原 孝之 (2年)	30m48	4.3
2	庄司 宇 (2年)	30m32	4.9
3	持永 新 (3年)	28m82	4.9

男子 やり投

1	石井 仁也 (4年)	43m69	4.3
---	------------	-------	-----

6 主務より

六大戦の応援に駆けつけてくださったOB・OGの方々を卒年順に敬称略でご紹介いたします。ありがとうございました。

1948年卒 山崎英也
1964年卒 梅津祐良
1982年卒 室城信之
1994年卒 工藤麻衣子
1999年卒 工藤洋治
2001年卒 岡野浩行
2001年卒 新妻拓弥
2003年卒 川添雄太
2003年卒 橋本武
(卒年順、敬称略)

文責：中原